

コロナ禍における 大学アカペラサークル活動状況 についての調査結果

2020.10.15 集計

調査期間：2020年10月上旬

オンラインアカペラサークル
ACAPPELLER.JP

1. 本調査について	3
2. 本レポートの注意事項	5
3. アンケート調査結果	
3-1. 選択式回答（全体集計と地域別集計）	6
3-2. 自由記述回答	25
4. 協力いただいたサークル一覧	44
5. 本集計に関するお問い合わせ	45

調査主体

この調査・集計はAJP編集部の渡辺光希わくが主に行い、アンケートの拡散においてはおとのお管理人さんの協力を得て実施しました。

調査方法

アンケートフォームをTwitterや大学アカペラサークル渉外係のLINEグループにて共有し、集まった回答を全体と地域別でそれぞれ集計しました。アンケートの質問内容は次のスライドの通りです。

選択式質問

- サークルの所在地
- 対面でのサークル活動について
- 学校外でのアカペラ活動について
- 新入生の数の推移
- 新入生(仮入サ含む)の数について
- (新人発表を含む)サークルライブについて
- 【サークルライブをされた(する予定のある)サークル】ライブ形態について
- 今年度の合宿について

自由記述式質問

- 対面で活動をする上で制限があれば教えてください。
- サークルライブの感染対策について何かあれば教えてください。
- リモートアカペラの練習や指導方法があれば教えてください。
- サークル運営について課題があれば教えてください。

2. 本レポートの注意事項

- 回答の回収方法の性質上、各大学の活動状況を保証することは出来ません。参考程度にご覧ください。また、回答は10月3日(土)～10月9日(金)に回収したものであるため、現在は状況が変わっている場合がございます。
- アンケートは主に大学のアカペラサークルを対象としたものですがインカレサークルや社会人が所属しているサークルもがございます。
- サークル名が未記入の回答については自由記述式の回答のみ使用しております。
- 大学名・サークル名については回答されたものがそのまま反映されているため表記に誤りがある場合がございます。
- 選択式の回答において、同じサークルの回答が複数ありそれらに違いがあるものは基本的に回答の多い選択肢とし、数が同じ場合は最後に回答されたものとしてあります。
- 自由記述式の回答で、ほとんど同じ内容の回答については1つにまとめてあります。

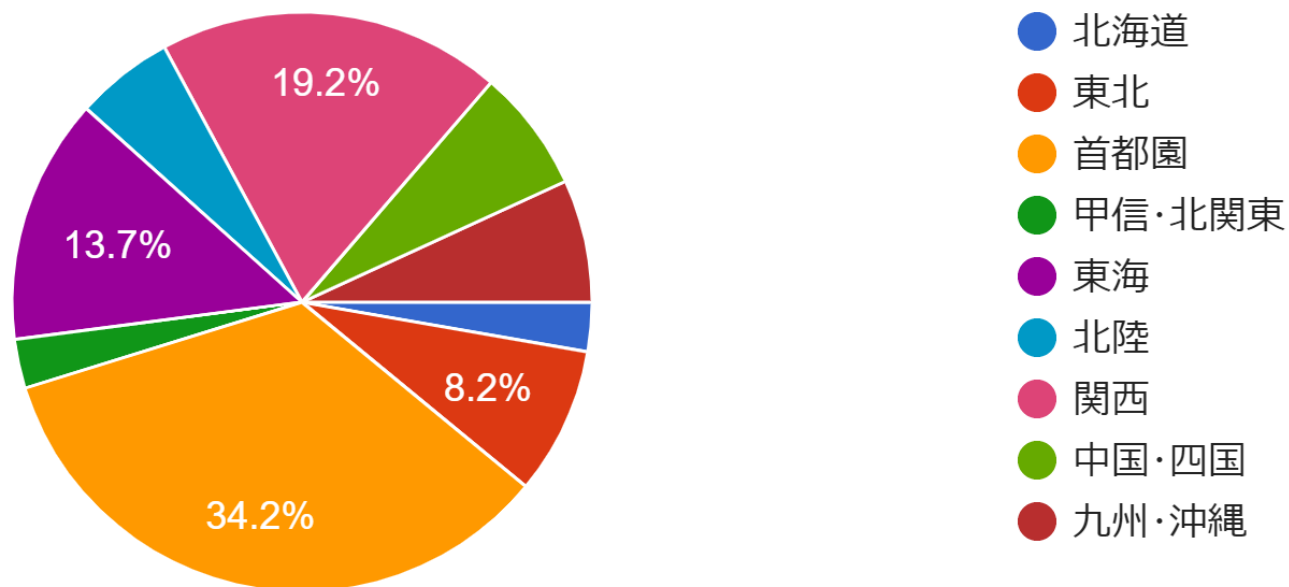
3. アンケート調査結果

選択式回答

Q. サークルの所在地

サークルの所在地

73件の回答

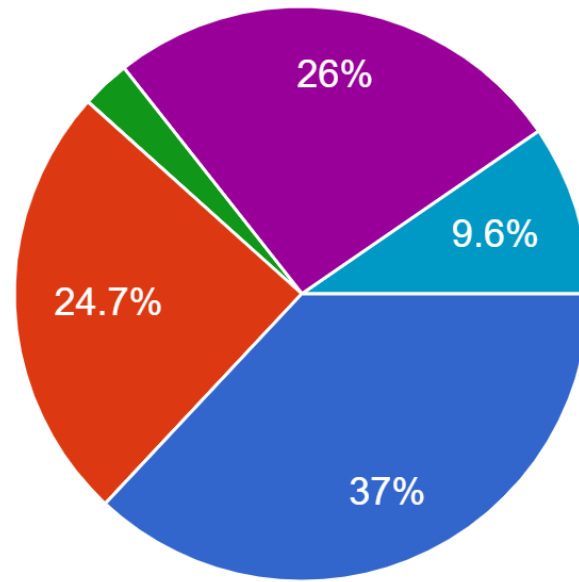


全国各地の73サークルから回答をいただいた。首都圏のサークルからの回答が最も多く全体の34.2%を占め、次いで関西のサークルからの回答が多くなっている。

Q. 対面でのサークル活動について (全体)

対面でのサークル活動について(全体)

73件の回答



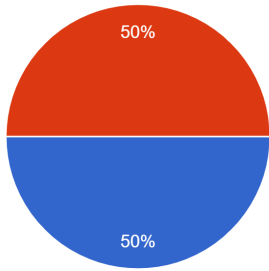
- すでに対面で活動している
- 今年中に対面での活動が再開する
- 今年度中(1月~3月)に対面での活動が再開する
- 今年度は対面での活動は再開しない
- いつ対面での活動を再開できるか分からない
- その他

全国的に見ると、すでに活動が再開しているサークルの割合は約**3割**となっている。

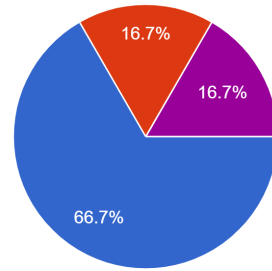
一方で、いつ対面での活動を再開できるか分からないというサークルも全体の約**2.5割**を占めている。

Q. 対面でのサークル活動について (地域別集計)

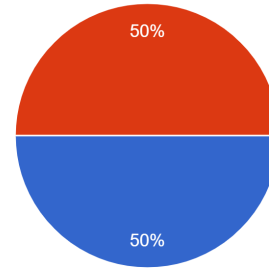
北海道
2件の回答



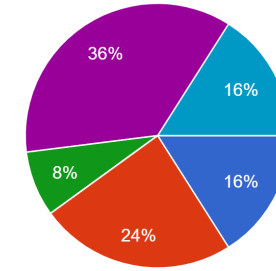
東北
6件の回答



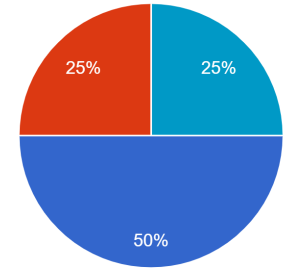
甲信・北関東
2件の回答



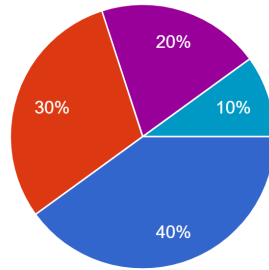
首都圏
25件の回答



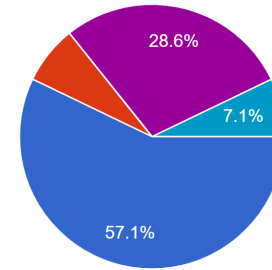
北陸
4件の回答



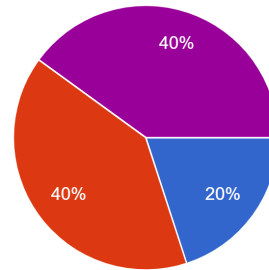
東海
10件の回答



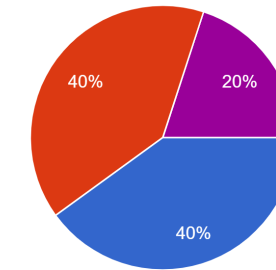
関西
14件の回答



中国・四国
5件の回答



九州・沖縄
5件の回答



- すでに対面で活動している
- 今年中に対面での活動が再開する
- 今年度中(1月~3月)に対面での活動が再開する
- 今年度は対面での活動は再開しない
- いつ対面での活動を再開できるかわからない
- その他

すでに対面で活動している割合が**最も低いのは首都圏**であり、今年度は**対面での活動ができないサークル**も見られた。

申請が必要

- 学校に提出した申請が通れば活動ができる。
- 10/17に再開の申請結果が大学から出ます！

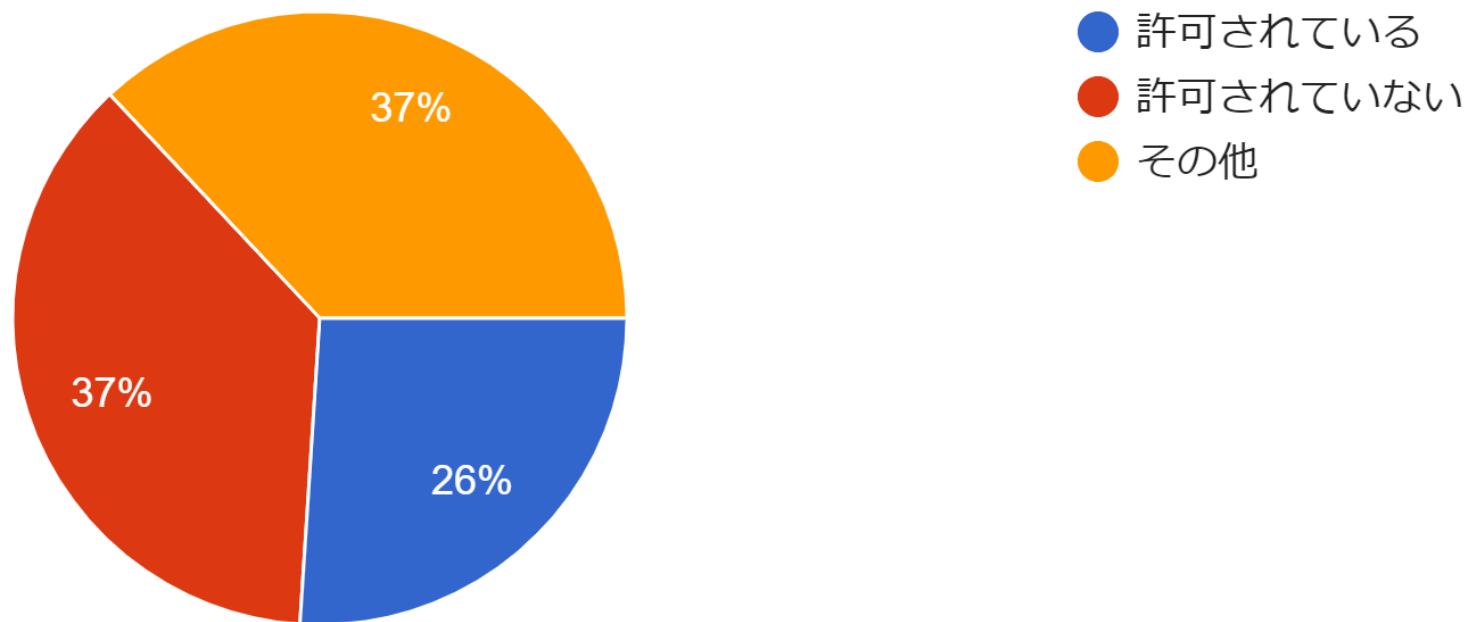
条件がある

- バンド練習のみ、対面での活動が可能になる可能性がある。
- サークル全体ではまだ予定はないが、バンド単位では活動しています。
- バンド活動のみすでに再開している
- 全体での活動(週に一度の全体会や全体歌の練習)は行っていないが、各バンドによる練習は対面で再開している。
- 一ヶ月に一回で120分が上限

Q. 学校外でのアカペラ活動について (全体)

学校外でのアカペラ活動について(全体)

73件の回答

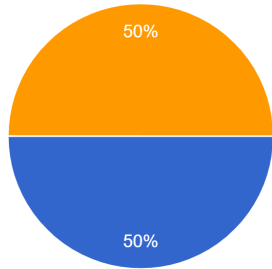


全国的に見ると、学校から許可されているサークルの割合は約**4分の1**となっている。

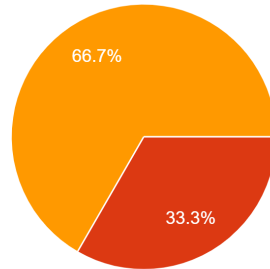
「その他」の回答は後ほど紹介する。

Q. 学校外でのアカペラ活動について (地域別集計)

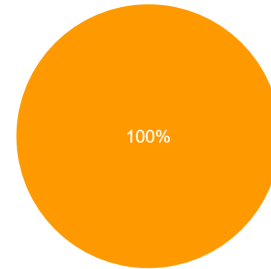
北海道
2件の回答



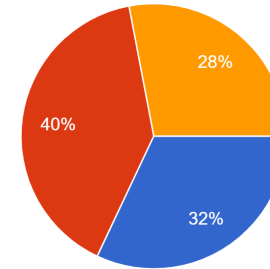
東北
6件の回答



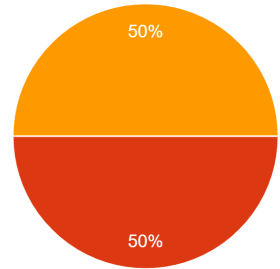
甲信・北関東
2件の回答



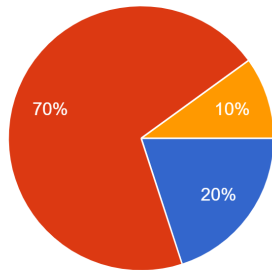
首都圏
25件の回答



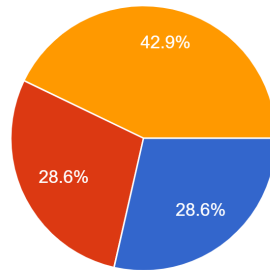
北陸
4件の回答



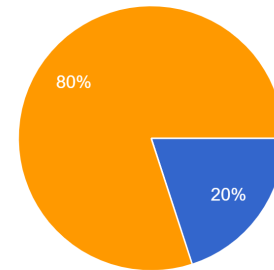
東海
10件の回答



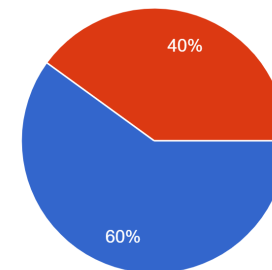
関西
14件の回答



中国・四国
5件の回答



九州・沖縄
5件の回答



- 許可されている
- 許可されていない
- その他

学校外でのアカペラ活動を許可されている割合が最も高いのは**九州・沖縄**であった。

申請が必要

- 申請が必要
- LIVE等の出演は課外活動上層部に認可が必要
- 書式提出の上許可制
- そのイベントの状態によって、申請が通るかで決まる。
- その都度、顧問の許可を得られれば可
- 書類を提出して許可をもらえた場合のみ
- 許可証申請で可能
- 公式の大会は、活動計画書を事前に提出した場合のみ出場可能、参加者は当日の2週間前から健康状態を記録する必要がある
- 学校にサークルごとの申請が通ると、活動許可が降りるようです。
- 申請を出せば活動できないこともないと思うが、今の大学の方針だと許可されない可能性の方が高いと思う。

申請が必要

- 屋外施設のみ利用可能
- 練習目的なら許可、それ以外の外部大会の参加等は不許可
- インカレバンドは個人活動とみなされているので可。所属が全員Stairwaysのバンドは不可。

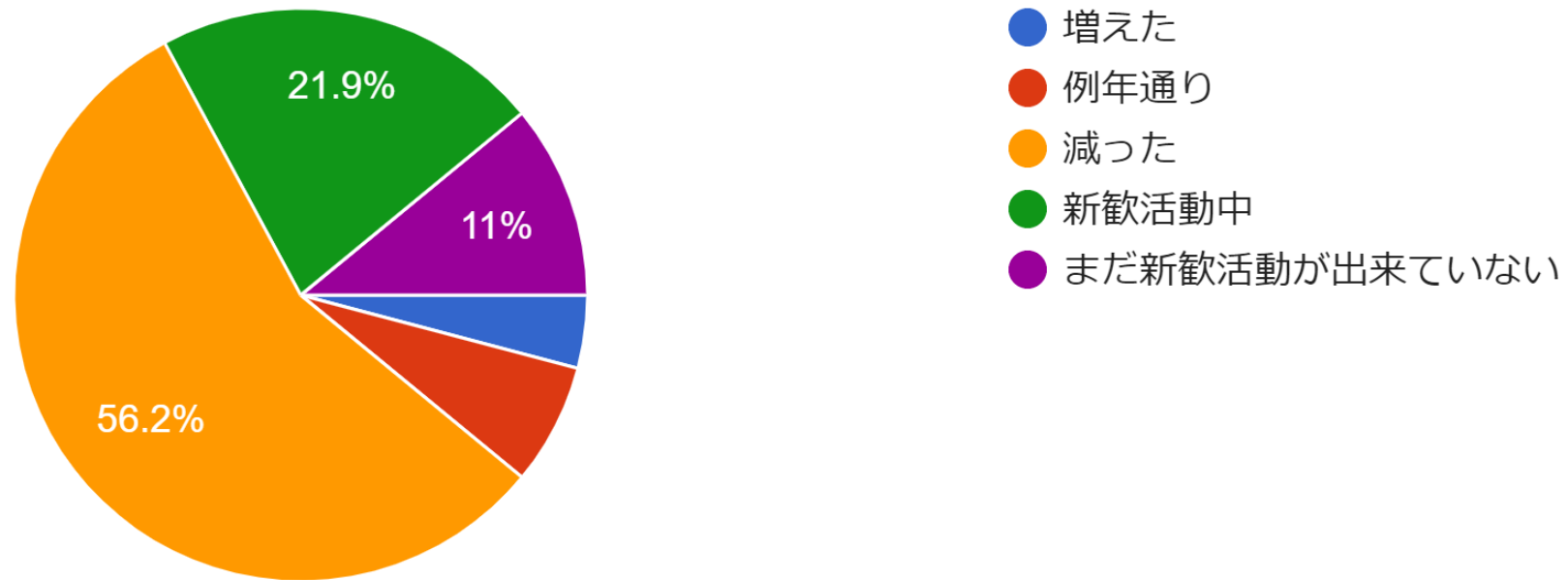
条件がある

- 分からない
- 明確な指示なし。
- 指示は出ていない
- 大学としては禁止されていません。幹部としては黙認してます。

Q. 新入生の数の推移 (全体)

新入生の数の推移(全体)

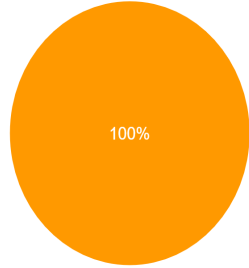
73 件の回答



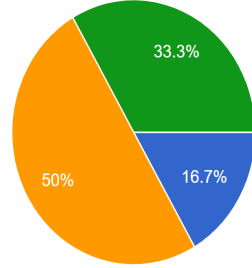
全国的に見ると、**新入生の数が減った**というサークルが過半数を占めており、まだ新歓活動が出来ていないというサークルも見られた。

Q. 新入生の数の推移 (地域別集計)

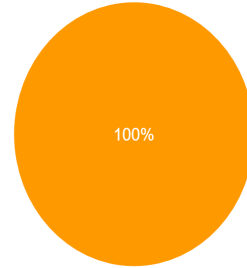
北海道
2件の回答



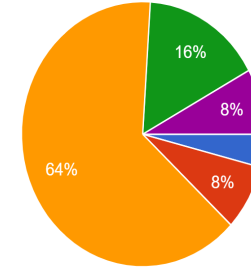
東北
6件の回答



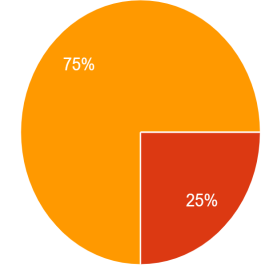
甲信・北関東
2件の回答



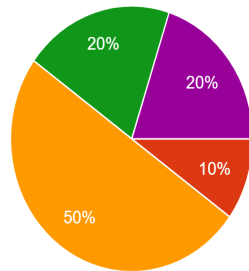
首都圏
25件の回答



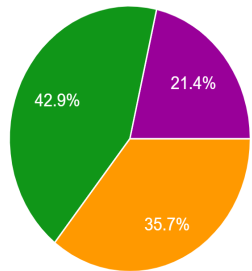
北陸
4件の回答



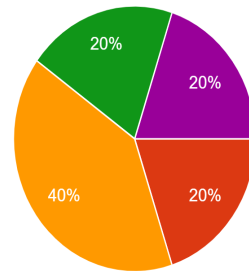
東海
10件の回答



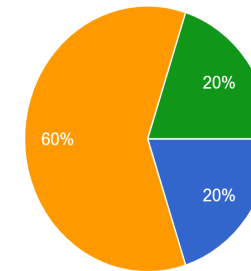
関西
14件の回答



中国・四国
5件の回答



九州・沖縄
5件の回答



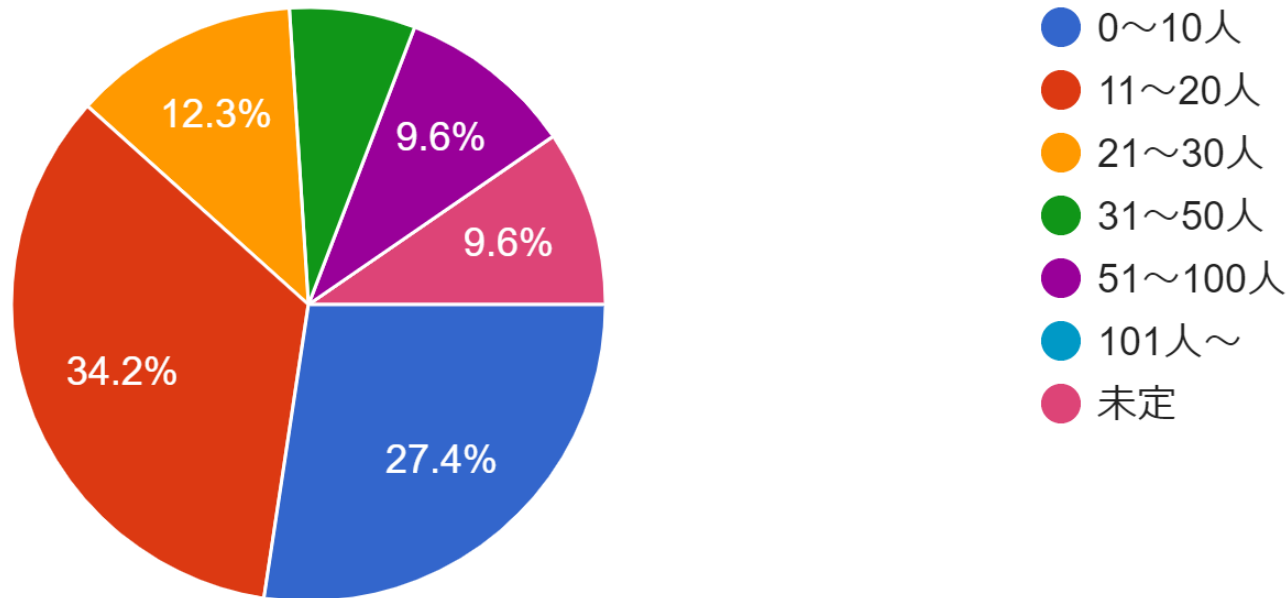
- 増えた
- 例年通り
- 減った
- 新歓活動中
- まだ新歓活動が出来ていない

例年通りという回答がどの地域においても少なく、**地域に関係なくコロナによる影響**を受けていることが分かる。

Q. 新入生（仮入サ含む）の数について（全体）

新入生(仮入サ含む)の数について(全体)

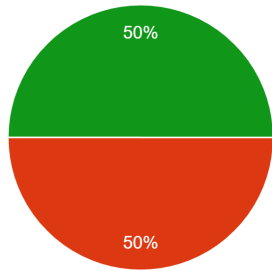
73件の回答



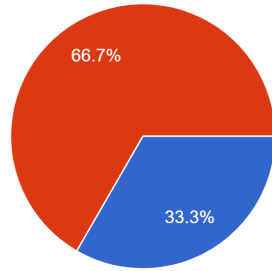
全国的に見ると、現時点で新入生が20人以下というサークルが過半数を占めており、101人以上のサークルは見られなかった。

Q. 新入生（仮入サ含む）の数について（地域別集計）

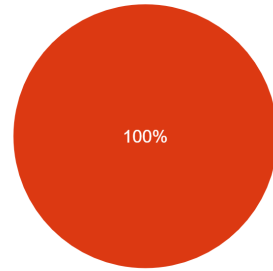
北海道
2件の回答



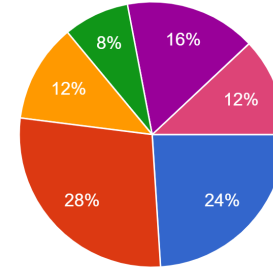
東北
6件の回答



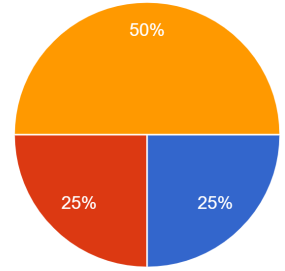
甲信・北関東
2件の回答



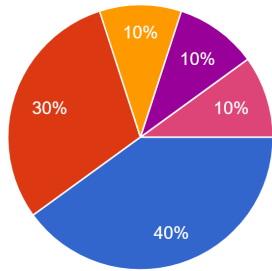
首都圏
25件の回答



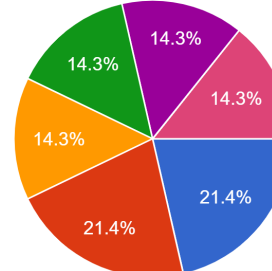
北陸
4件の回答



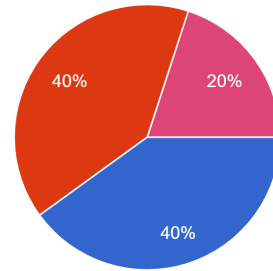
東海
10件の回答



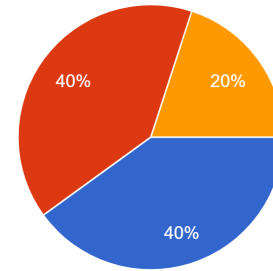
関西
14件の回答



中国・四国
5件の回答



九州・沖縄
5件の回答

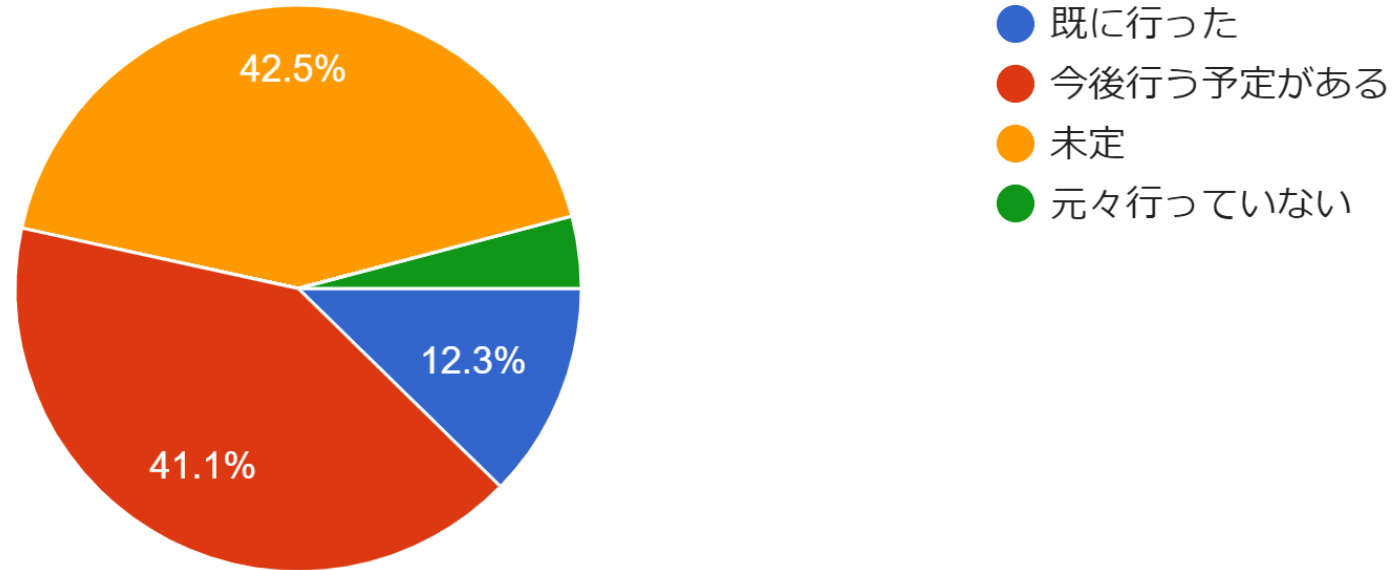


コロナ禍においても、人口の多い首都圏・東海・関西では**新入生の数が51～100人**というサークルが見られた。

Q. (新人発表を含む) サークルライブについて (全体)

(新人発表を含む)サークルライブについて(全体)

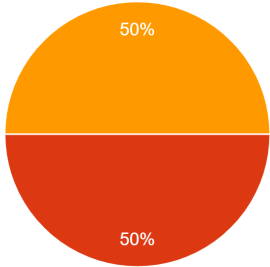
73 件の回答



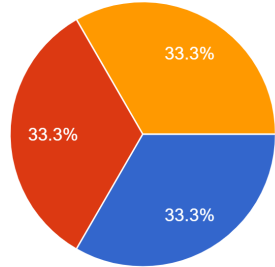
全国的に見ると、サークルライブの予定が未定であるサークルが**42.5%**と**半数近く**を占めている。
一方で、既に行ったというサークルも**12.3%**あった。

Q. (新人発表を含む) サークルライブについて (地域別集計) オンラインアカペラサークル ACAPPELLER.JP

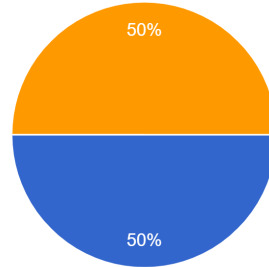
北海道
2件の回答



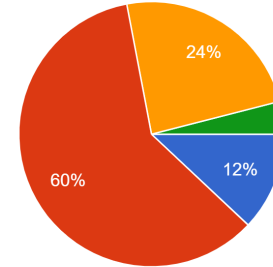
東北
6件の回答



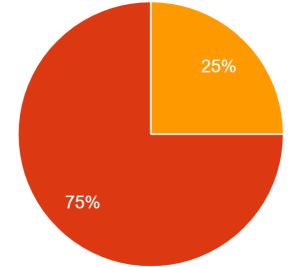
甲信・北関東
2件の回答



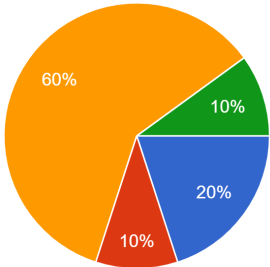
首都圏
25件の回答



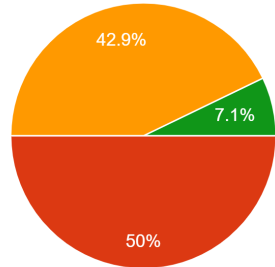
北陸
4件の回答



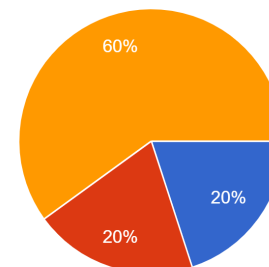
東海
10件の回答



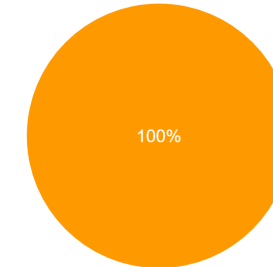
関西
14件の回答



中国・四国
5件の回答



九州・沖縄
5件の回答

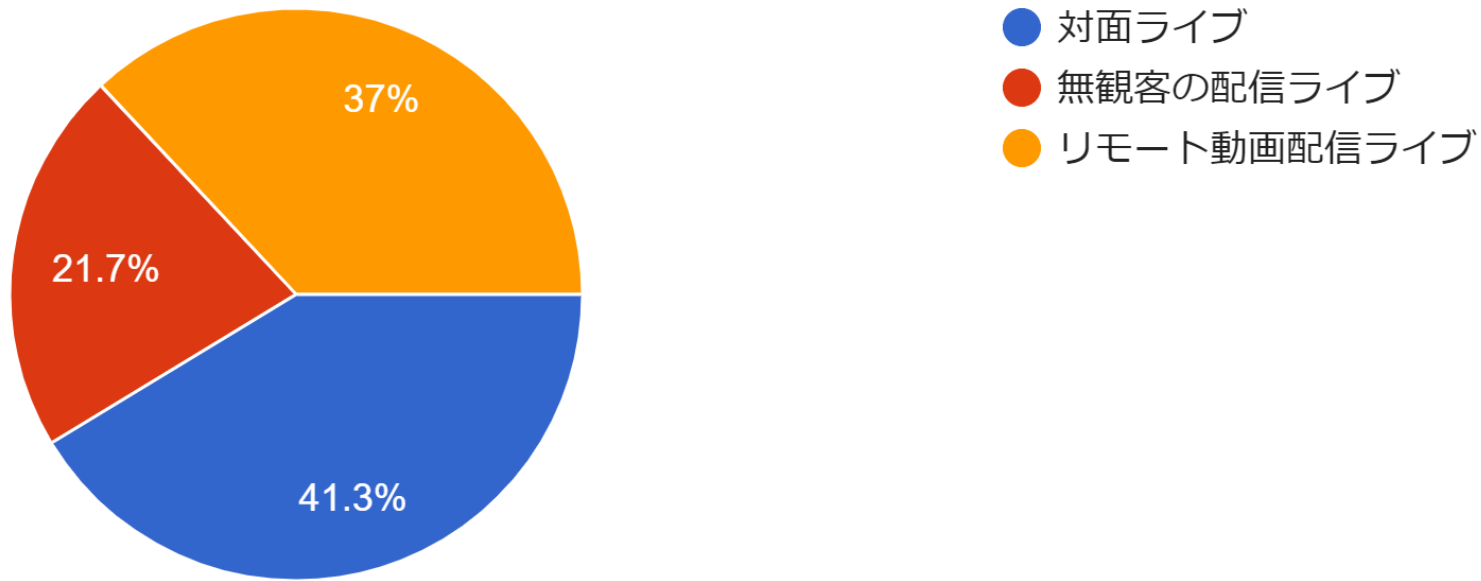


- 既に行った
- 今後行う予定がある
- 未定
- 元々行っていない

全体的に半数近くのサークルが「既に行った」や「今後行う予定がある」と答えているが、**東海**や**九州・沖縄**は比較的その割合が低かった。

Q. ライブ形態について (全体)

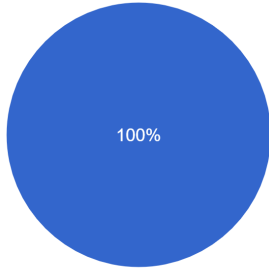
【サークルライブをされた(する予定のある)サークル】ライブ形態について(全体)
46件の回答



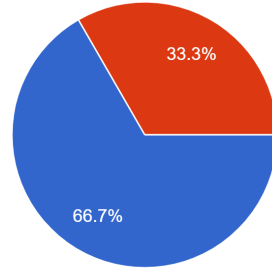
全国的に見ると、サークルライブをされた(する予定のある)サークルのうち**約4割は対面ライブ**であった。

Q. ライブ形態について (地域別集計)

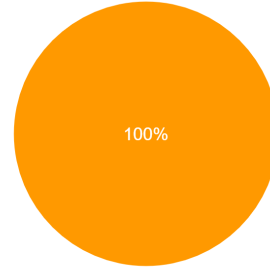
北海道
1件の回答



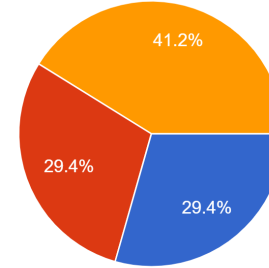
東北
6件の回答



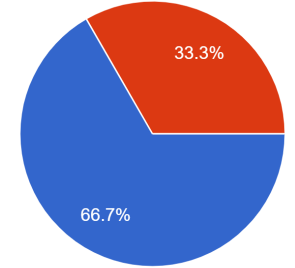
甲信・北関東
1件の回答



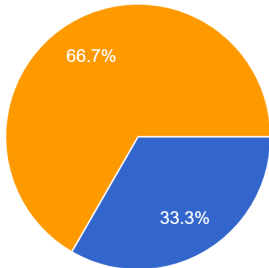
首都圏
17件の回答



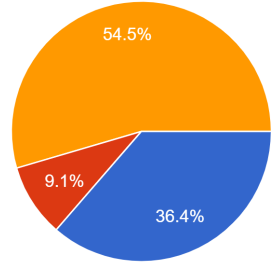
北陸
3件の回答



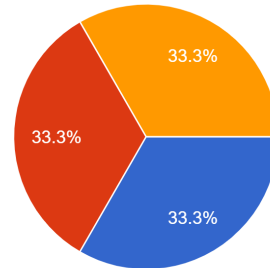
東海
3件の回答



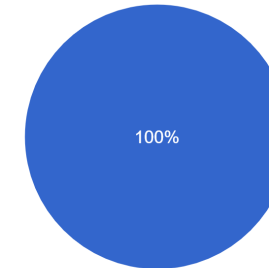
関西
11件の回答



中国・四国
3件の回答



九州・沖縄
1件の回答



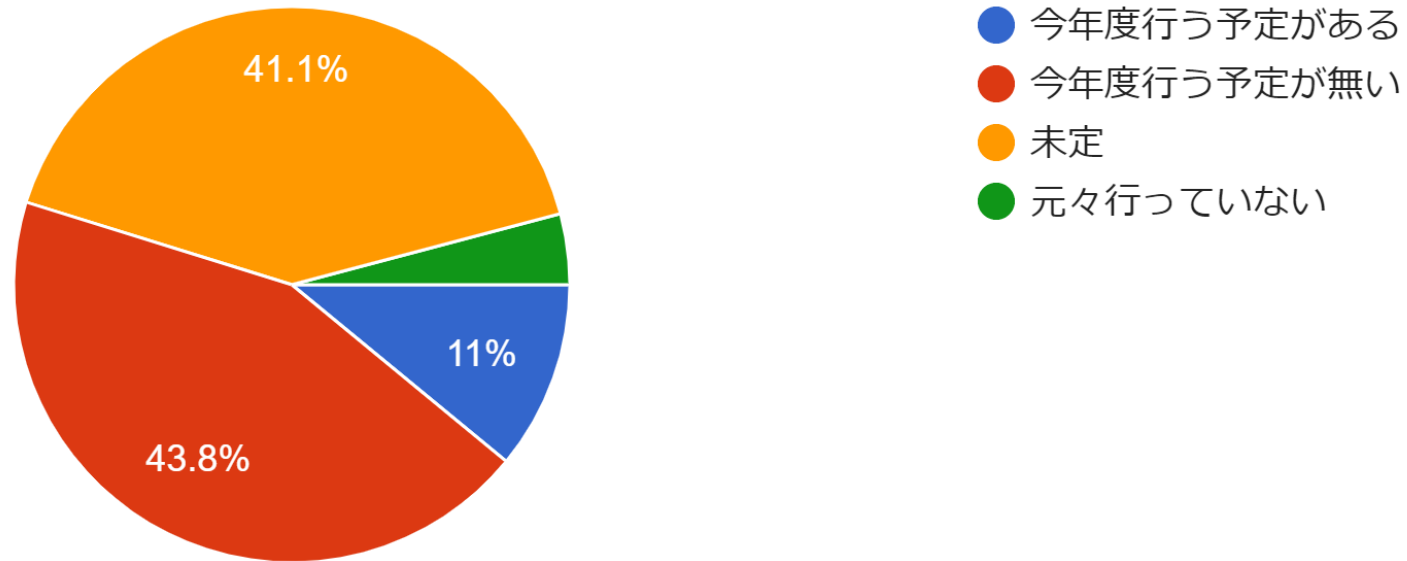
- 対面ライブ
- 無観客の配信ライブ
- リモート動画配信ライブ

人口密度が低い地域ほど、対面ライブを予定している(すでに行った)サークルの割合が高い傾向があるように思われる。

Q. 今年度の合宿について (全体)

今年度の合宿について(全体)

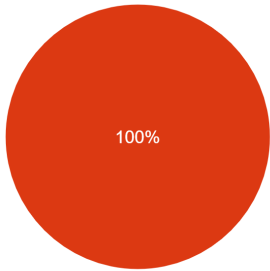
73件の回答



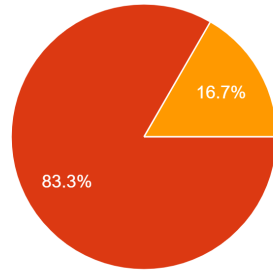
全国的に見ると、今年度合宿を行う予定があるサークルは**約1割**しか無かった。

Q. 今年度の合宿について (地域別集計)

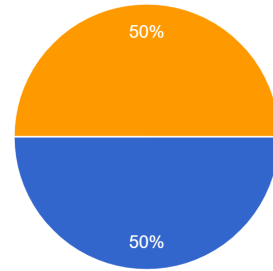
北海道
2件の回答



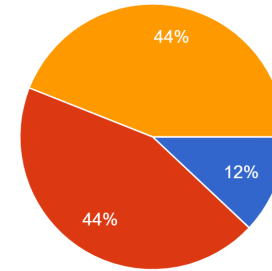
東北
6件の回答



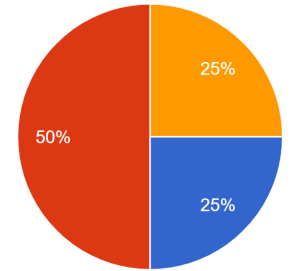
甲信・北関東
2件の回答



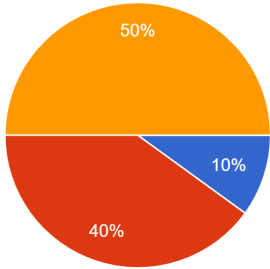
首都圏
25件の回答



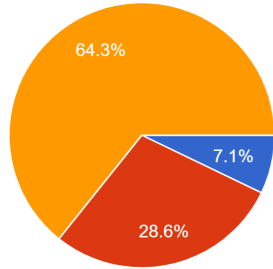
北陸
4件の回答



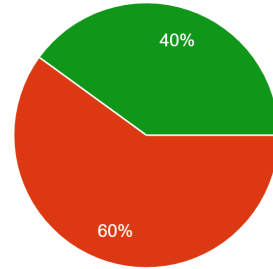
東海
10件の回答



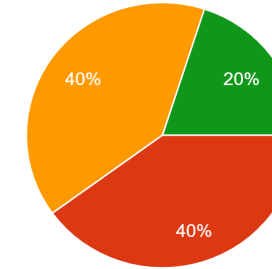
関西
14件の回答



中国・四国
5件の回答



九州・沖縄
5件の回答



- 今年度行う予定がある
- 今年度行う予定が無い
- 未定
- 元々行っていない

人口密度が低い地域ほど、今年度の合宿を行う予定の無いサークルの割合が高い傾向があるように思われる。

3. アンケート調査結果

自由記述式回答

Q. 対面で活動をする上で制限があれば教えてください。①

人数や場所、時間に制限がある

- 人数制限(室内の定員の1/3以下)
- 学内の施設は一日に3時間まで
- カラオケ、ライブハウス等屋内施設の利用は禁止
- 活動時間が5時間以内に指定されている。活動報告書を書いて学務に提出しなければならない。
- サークル棟は利用人数制限があるためスタジオに行ってます。
- 教室定員の半分以下、狭い器楽室使用不可、ライブハウスおよび所有ホール使用不可
- 大学内の施設を使う場合は1人1日2時間だけ活動可能で、そのうち前後合計30分は消毒等の清掃を行うこと。
- 学内施設の使用人数制限。部室に立ち入るのは同時に1人まで。
- 週2日で各日3時間まで。1教室あたり2バンドまで。
- 1教室あたり同時に活動するのは10人までとする。事前に使用希望者を聞き、同時刻に10人を超えないように幹部がシフトを組み調整する。
- サークル活動では活動場所の定員の半分となるように参加するサークル員の人数を分散させています。

人数や場所、時間に制限がある

- 例年利用している活動場所がコロナの影響で自由に利用することが出来ないため、各バンドの練習場所(学内の施設、予約制)と練習時間を幹部で管理しています。
- 人数制限(40人以下での活動)。練習時間(最大2時間まで)。参加予定の学生は参加同意書などの書類を提出。
- 他大生が学内に入れなため、インカレサークルとしての活動に学内の施設が使えません
- 練習時間は1時間のみ、一度に3バンドのみの練習
- 屋内の場合は教室のキャパの3分の1程度の人数しか入れない。
- 1人3時間までの時間制限、練習参加者・時間などの資料を学校に提出、卒業生やインカレ生の対面活動・練習禁止
- 体調が優れないものは参加を不可とする。
- 5号棟の外の広場で練習する際には、同時に使用するのは2バンドまでとする。
- 防音室利用は、1人週3回まで。
- 体調が優れないものは参加を不可とする。

Q. 対面で活動をする上で制限があれば教えてください。③

活動方法に制限がある

- 原則マスク着用
- 換気、非対面での練習等
- タイムツリーを利用した幹部への練習日程・練習場所の事前連絡(マイク練はさらに個別の連絡)
- 県外渡航の事前連絡（一定水準を上回る陽性診断者の出た県からの県外渡航者は2週間の活動自粛要請）
- 他団体との接触を伴う全ての外部活動の禁止
- ソーシャルディスタンスを保つ。検温、消毒、手洗いうがいの徹底。施設内の換気。
- 参加人数の把握、参加者名簿の作成。マイクカバーの使用。など
- 活動中および前後での会食は禁止。大人数でのコンパ等の集会は禁止。合宿は禁止。
- 2週間分の体温報告と活動許可申請が必要。練習中、その前後も詳しくルールがある。
- 練習中の室内での食事や、練習後の4人以上での会食は原則禁止となっています。
- マスク着用、向かい合わない、2m以上距離をとる、屋外ならばマスクをしなくても可

活動方法に制限がある

- 教室使用前に入り口でアルコールスプレーによる手指の消毒、もしくは石鹸による手洗いを義務付ける。
- 機材使用时、1バンドが使用する毎に触れた部分（マイクのグリップ、ヘッド等）をアルコールティッシュで拭く。片付け時にも全ての機材をアルコールティッシュで拭く。
- 飲食する際は喋らず距離を1.5～2m離すようにする。喋る際はマスクを着用し距離をとる。
- 飲み会や食事会等の禁止、物品の共有禁止、活動後の日誌記入
- 機材は使用しない。（大学内の施設しかまだ使用が許されていないです。）
- 2m間隔で横並び、練習日は検温フォームで登録してから練習、消毒液は持参し適宜消毒、歌っている間もマスクは外さない
- 徹底したコロナ対策（マスク着用や人との感覚）を行うよう知らされています。
- 再開後2週間は自主練習期間、その後サークルで1日2時間(要は1バンドのみ)新しい生活様式に基づいて練習する
- 全体練は無し、マスクやタオル等を使って練習してます。
- 活動再開の上でのちゃんとしたガイドラインの提出が必要。

Q. 対面で活動をする上で制限があれば教えてください。⑤

申請が必要

- イベント開催・参加は許可制
- 大学が定めたガイドラインに従って活動できれば申請し許可されたら活動できる
- 6人以下バンドの少人数活動ならできるのではないかと、学校に活動再開の申請を提出するところです。
- 学校の方に活動申請書類を作成、提出し、許可が下りれば活動できます。具体的な活動日時や場所、感染対策などを明記します。試しに一度作成して出したところ、許可されたので対面の活動を希望しているバンドごとに順次提出していく予定です。提出前には幹部主催の感染対策共有会を開き、事前の心得のようなものを周知させる予定です。
- 事前申請制、感染症対策案を提出
- 対策案をかいた活動届をだして許可されれば活動できる

人数や場所、時間の制限

- お客さんを半分にして二回公演の予定
- サークル員,観客の人数を減らす。
- 完全予約制で、学内の学生しか予約できない。会場は隣同士一席開けて座り、前後は一列感覚を開ける。
- 申請が通れば、対面はサークル員内だけで行う予定で、同時に生配信をするかは未定。どんな形になっても、動画として作品は残す予定です。
- 施設に人数制限があるので、新人ライブでは、新入生と出演バンド、待機バンドと仕事がある人だけがメインの会場に居れることにして、他の人は別室でメイン会場での配信をスマホ等で観るという形式にしました。
- 仮に感染者が出た際、サークル全体に広がらずに、少数(バンド内)で収まるように、バンド毎に日付をずらして撮影を行なった。
- 観客の席を1つずつ開ける。一般公開はせず、サークル内のみで行う。

演奏方法の工夫

- 向かい合っでの歌唱禁止
- マイク使用はまだ許可されなそうなので音響機材無しで行っています。
- ソーシャルディスタンスの確保、1演奏毎にマイクの消毒、定期的な換気
- 学内の施設において無観客実施。全体曲はオンラインで行うか無しかの2択(まだ未定)。
- 事前に動画を撮影して、大教室を使った観賞会を開きます。
- 一般客を招くライブではご協力頂くホールと調整中。メンバー間のアクリル板設置、座席をひとつ空けるなどが挙げられている。座席の対策に関しては学内ライブで準用。休憩を増やして換気を増やす。
- マスク、手指の消毒。座席の間隔を空ける。マイクは歌い終わったバンドが除菌する。(1バンドごと)
- マイクシールド、マイクカバーをつける、舞台上での演者の距離の確保、消毒などが今考えられています。
- 消毒や透明のビニールで壁を作って、マスクをしました！
- マイクカバーをつけて歌い、歌い終わったらマイクカバーを外してアルコール消毒を行う。

Q. サークルライブの感染対策について教えてください。③

その他

- AJAAの感染対策に則って開催
- 随時健康チェック
- 対面全体曲とリモート全体曲(練習もリモート)の両方のプランを準備。

練習方法

- オンラインスタバンの例①それぞれが期日までに録音②バンマスがミックス③週一でバンドリモートミーティングでフィードバック④2.3回やって本番音源と動画を撮る
- まだきちんとリモートアカペラの活動ができていない訳では無いけれど、これから「どのように歌うか」など譜面に書き込みをしたものを、全体に共有しようかなと考えています…。練習は本来ならしたいですが、対面以外だと厳しいので、個人におまかせしている状態です。
- 各自で音取り(新入生に対してはzoom等で教える)
- サークルでオンライン全体曲を実施した。録音方法や録画方法は各技術班が作ってくれたガイドラインに沿って統一した。正直細かな演奏指導などは出来ていない。
- ある程度指示をLINEで共有して各自練習。
- 曲の雰囲気やこだわりポイントを作譜された方に聞き、譜面と音源をひたすら聞いています。

アプリの使用

- 主にGarageBandを使用して、録音を各自録り、編集した音源を基に、動画を各自撮る。動画もバンド内で編集する。
- GarageBandを使用。Android機種を含めると音源の都合で縦がズレてしまう場合があるため、出来るだけ再生時間の操作が必要ない、ひと繋ぎのトラック(自分のパートがない時間も含めて一曲を通して録音された状態)をお願いしている。
- nanaというアプリを使ってアカペラを有志で行っています！

指導方法

- 現状学内外問わず課外活動で「対面で歌うこと」が禁止されているため、LINEでのアドバイスのみ行っている。
- なるべく楽譜に注意点などを書き込むようにしています。

指導方法

- Zoomで集まり、音とりの段階で不安な部分がないか聞くなどしていました。
- 1度録音した音源を完成させてそこからフィードバックをしてから本番の音源を録ります
- zoomで一旦楽譜の読み取り方は口頭で共有、アレンジャーが全パート歌ってデモを出す、が、それでも伝わらなかったのは諦める
- 各パートリーダーがzoomを開き、zoomでのパート練をしました！パートリーダーが積極的に音を確認したり歌ったり、時には質問にも答えたりしましたが、ほとんど個人練にお任せしていました。
- 新人にアカペラを体験してもらうためにリモートアカペラに参加してもらいました。
録音をするにあたって、事前に録音の仕方を説明し期限を決めて、共通のGoogleドライブに提出してもらいました。
一度音源を提出してもらったあと上回生でフィードバックを行い、もう一度音源を録ってもらって最終的な作品を作り上げました。

指導方法

- バンド内で編集が不可能な場合は、サークル内でアドバイザーなどを募り指導していく。
- ひとりひとりに音源を提出させ、それをお互いにアドバイスしあう方法で行う予定。
- アレンジと共に、自分でとった多録音源編集をメンバーに共有して、まずアレンジの解説をオンラインでします。その後、順番はアレンジにもよりますが1人ずつ録音した音源を提出してもらって、それを重ねた音源を共有して次の人に録音してもらうようにしたり、共有した見本に合わせて歌ってもらったりしています。全員の音源が集まって1度編集した後、メンバーにフィールドバックしてもう一度録って貰います。

その他

- suisai様の動画を参考している。

新入生関連

- Twitter上新歓活動ができていない。新入生が非常に少なく来年度以降の役職を引き継ぐことが困難である
- 新入生の勧誘がかなり難航している状況である。
- オンラインでの新歓活動に限界を感じる。(新入生にアカペラを伝えることはできるが体験してもらえない。)→リモートで新入生に発声や練習方法を伝えることはできるか。
- 新歓活動と年末に予定しているサークルライブの準備との両立が難しい。(新歓で新入生を入れたとしても、サークルライブの全体曲の練習などは参加人数を制限しているため、新入生を見学させずらい、など)
- 新入生のケア
- 後輩育成
- 新歓活動は、対面活動の申請が通れば随時行う予定です。
- 新入生の同期バンドを組めない
- 新入生がなかなか入ってこない為、今後のサークル活動に不安を感じている

新入生関連

- 新歓活動は行っているが満足いくようにできてないこと。
- オンラインでの新歓活動が多かったため例年より新入生が少なく、男子が少ないため、来年度以降ペースやパークスの人材不足が予想される。
- 新入生の学年代表選定に時間が無い。また今後新入生サークル員が増えるため名簿とサークル予算が確定しない。
- 1年生バンドを組ませてあげられないこと
- 例年100人入るところが50人しか入らないと困る、という感じです。インカレかつ日本一の歴史や設備、早稲田歌サーNo.1の規模が売りなので、縮小したくない。女子大や、小規模なアカペラサークルしかない他大にしながら、一生懸命やりたい人をなんとかSCSに取り込めないか画策していますがなかなか難しいです。
- 対面での活動ができないため、新入生に対してのイベントが少なく、上級生との関わる場面が限られてしまっている。
- 新入生が減ったことによるサークル体制の見直し、オンライン活動に伴う必要な人員(音源編集者等)の確保等

引き継ぎ関連

- 役員の引き継ぎが通常12月であるが、12月に引き継ぐことができない可能性が高い。いつ引き継ぐのかのタイミング。
- 役職引き継ぎが遅れた、引き継いだがあなあになっている。
- ライブができていないので機材使用の引き継ぎができないこと
- ライブや合宿などほとんどのイベントが中止になっているため、執行代が経験を積むことができず、引き継ぎを行うことが困難。
- 対面で活動できていないので、役職の世代交代が例年より時間を要している。
- 引き継ぎ資料作りの情報不足
- 役職引き継ぎは10月に今の幹部が手伝いながら行います。
- 静岡大学静岡キャンパスのアカペラサークルは1年生の最後に運営を引き継いで、現在私は2年生です。役職を受け継いだにも関わらず、例年通りの活動では無いので未だ何も仕事をしていません。🙄
- 知識伝達

サークルライブ関連

- 冬ライブが対面で行えるか、また対策を完璧にしなければいけない責任の重さ。
- コロナ対策を考慮しながらのライブ運営(前例がないので苦戦している)
- 対面でのライブ運営ができない。
- ライブの運営(チケット代が入らないと開催はむずかしい)
- 新歓ライブや卒業ライブが行えない可能性がある
- ライブ運営について、前代未聞の状態なので探り探り行っています
- 今年でサークルを辞めてしまう上回生のための、ライブ、イベントなどの形態や感染対策など。
- 1年生を含めて、発表の場がない
- ライブを行う毎にリモートしかできず、新入生にどのようにアカペラの楽しさを教えたらいいのかが難しいです…。先輩達は既にアカペラをすることの楽しさを知っているため、リモートでも対応出来るが、1年生にとっては現状ただの作業になっているのでは無いかという心配があります。

その他

- 部員のモチベーションの低下、所属意識の維持
- 活動が始まっているのでコロナ対策を考えることや大学の連絡が今の主な課題です。
- 練習場所の拡張のための準備
- 合宿がなくなった、みんなのモチベが下がっている、アカペラ存続の危機。
- 例会の運営
- マイクの使用をいかにすれば認めて貰えるかというところが課題。
- リモートでの幹部運営、先輩から後輩への技術面の指導、新入生の加入が少ないことによるサークル運営費の減少など。
- 来年度以降の技術低下

その他

- 大学の感染防止対策とサークル団員の認識の間に齟齬が生じてしまった。大学側の対応に不満がある団員が多数。
- 後輩の育成や活躍の場を増やすこと
- まだ新入生勧誘が行えていないのに3年生の先輩が引退してしまうため、活動運営の不安もあるが、このままでは存続自体が不安である。
- 4年をサークルに引き戻すこと。

4. 回答いただいたサークル一覧 (敬称略)

北海道大学 NoSeRA	北里大学 oRbit	専修大学 EmoHill	名古屋アカペラサークル JP-act	神戸大学 GhannaGhanna
北海学園大学 Lapis	青山学院大学 MusicBoxSociety	東京外国語大学 LINES	名古屋外国語大学 La voix	大阪大学 inspiritual voices
山形大学 Smile☆	東京都市大学 Groove	東京大学 LaVoce	愛知淑徳大学 P∨SH	立命館大学 Song-genics
東北福祉大学 MUSICOM	東京農工大学 ANIT	芝浦工業大学 NewTone	愛知教育大学 Premier	山口大学 Sing A Song
東北大学 del mundo	埼玉大学 CHOCOLETZ	横浜市立大学 voxbox	同志社大学 One Voices	広島大学 PDE
宮城教育大学 奏	慶應義塾大学アカペラシンガーズK.O.E.	新潟大学 MUSE	近畿大学 OverScale	愛媛大学 アカペラオレレンジ
東北学院大学 remix	國學院大学 びいぐる	福井大学 ふれんど	立命館大学 Empire Cast	高知大学 On-Air
岩手大学 voivoi	東京経済大学 beatbaby-	上越教育大学 JADE	関西学院大学 Crescent Party	下関市立大学 A cappe*love
桜美林大学 桜唄	法政大学 BeBap!	富山大学 BABYZ BREATH	大阪市立大学 Accord	熊本県立大学 歌唄
筑波大学 Doo-Wop	順天堂大学 TK NΦTEM	名古屋工業大学 Grazie!!	関西外国語大学 VoxChord	熊本大学 Higo-Pella
神奈川大学 JACK	明治大学 生田アカペラ同好会No-S	日本福祉大学 Figaro	関西大学 Brooklyn304	九州大学 HarmoQ
早稲田大学 SCS	東海大学 T.N.X	静岡大学 GARDEN	大阪府立大学 ONE BEENS	宮崎大学 B.O.I
横浜国立大学 Stairways	慶應義塾大学 WALKMEN	静岡大学 Aal-Lied	京都産業大学 PureVoices	宮崎公立大学 EPOCH
武蔵野大学 MAM	駒澤大学 鳴声刺心	静岡県立大学 TheVivaledge	近畿大学 EmptHanded	
文教大学 ハモハモ	明治大学 Sound Arts	名古屋市立大学 Andante	滋賀大学 Decoratebox	

以上、全73サークルのみなさま
ご協力ありがとうございました。

5. 本調査に関するお問い合わせ

本調査・集計に関するお問い合わせは「わく」までお問合せください。

wakumumusic123@gmail.com